

平成27年(2015年)3月12日(木曜日)(24)



産学連携研究で表彰を受けた(左から)一家崇志助教、木谷友哉准教授、松田智准教授
 =9日、浜松市中区の静岡大浜松キャンパス

最優秀に一家助教

静岡大と
 浜松信金
 産学連携研究員を表彰

静岡大イノベーション社会連携推進機構と浜松信用金庫は9日、産学連携で研究に取り組む若手研究員を対象にした「静岡大学産学連携奨励賞」と「はましん産学連携大賞」の授賞式を浜松市中区の同大浜松キャンパスで開いた。奨励賞の最優秀賞は、高アミノ酸を多く含む白葉茶の開発に関わった農学研究科

の一家崇志助教(34)に贈られた。
 一家助教は式典で、和食がユネスコ無形文化遺産登録されたことに触れ「お茶が発展するチャンスだと思って今後も研究を続ける」と抱負を述べた。
 このほか、二輪車の基盤技術研究を行う情報学研究科の木谷友哉准教授(35)に優秀賞、微生物を利用した生ゴミ処理機を開発した工学研究科の松田智准教授(60)にはましんの大賞が授与された。